

メッセージアウトライン 2019年1月1日(火)「あなたの人生の主導権は誰の手に？」

聖書箇所：マタイ11：28～30

タイトル：「あなたの人生の主導権は誰の手に？」

テーマ：名古屋緑福音教会と記された十字架のネオンサインのそばの掲示板に「すべて、
疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい」と書かれている。
実はこの言葉の裏に、すべての人は疲れ果てていて、重荷に耐えかねて足をよろ
けさせ倒れそうになっている事実が提示されている。

今日の聖書箇所から、イエスのもとに招かれた人が重荷をおろして、休息し、重
荷から解放されていくプロセスを見てみよう。実はこのプロセスにこそ、私たち
の人生の主導権が私たちの手からイエス様の御手に移されていく秘訣が示され
ているのである。

本論：

(1) イエスの呼びかけ—すべて、疲れた人、重荷を負っている人は「わたしのところに来
なさい」“Come to me!”

①この教会に来られた方たちはどんな思いを抱いて教会に、あるいはイエスのもとに
来られたでしょうか。

*せっかく来られたのですから、一度じっくり考えてみましょう。あなたにとっての
重荷とはなんでしょうか。

*なぜ、私たちは疲れ、重荷に耐え切れなくなったのでしょうか？

・自分の人生の主導権は自分のものだと勘違い

②イエスは「心優しく、へりくだったお方」

*ヘブル4：14～16

*イエスの許に重荷を下ろすとは？

・自分の人生の主導権を手放す

(2) 次に、重荷をおろした人のすべきこと

①イエスのくびきを負うこと

・主導権を渡す相手はイエス様

・くびきとはどんなものか？

②イエスから学ぶ

(3) イエスのくびきは負いやすく、イエスの荷は軽い

(4) 主の招きに応じてやってきた人たちがとる3つの態度

①イエスのもとに来て、荷をおろしてみたものの、再びその荷を背負って歩み始める人

(自分の力で人生を乗り切りたい人)

- ②重荷をおろしてほっとして喜ぶが、イエスのくびきを負うのは勘弁してほしいと、いつまでも休んでいる人(重荷を下ろしても、イエスと共にくびきを負いたくない人)
- ③重荷をおろして、重荷を引き受けて下さったイエスに感謝し、イエスのくびきを共に負って喜んで歩みだす人

結論：

- ①「ほむべきかな。日々、私たちのために、重荷をになわれる主。私たちの救いであられる神」(詩篇68：19)
- ②私たちの人生の主導権は誰の手に？